

平成27年度インターンシップ実習について

県土整備企画室

今年度、県土整備部には、岩手大学、秋田大学、八戸工業大学、八戸工業高等専門学校、大槌高等学校から実習の申込みがあり、大学生7名、高専生1名、高校生1名の計9名の実習を受入れました。

7月下旬から9月上旬にかけて、本庁各課、盛岡広域振興局土木部、県南広域振興局土木部花巻土木センター、沿岸広域振興局土木部、県北広域振興局土木部二戸土木センターにて実習を行いました。

実習は5日間（高校生のみ4日間）で行われ、いずれの実習場所でも、当該公所等の業務概要を座学で実習したほか、工事現場等での見学実習が行われ、参加した学生の皆さんからは「普段、見ることの出来ない現場を見学できて良い経験となった」や「公務員志望の動機付けとなった」等の感想が寄せられました。

以下では、このうち、本庁で実習に参加した2名の状況について紹介します。

【初日：8月24日】

実習生の2名（男性1名、女性1名）が、それぞれ緊張した面持ちで県土整備企画室へ集合しました。

午前は、オリエンテーション、県のしくみと仕事、県土整備行政の概要についての説明を受けたあと、部長室訪問、部内各室課見学、さらに、議会棟や県庁舎を見学しました。

県土整備部長からは「限られた期間ではあるが、県土整備行政の一端に触れてもらい、是非、今後の進路選択に活かして欲しい」との激励を受けました。

議会棟の見学では、本会議場や各種委員会室等を見学し、ニュース番組等のテレビを通じてしか見たことのない場所を体感し、感激していた様子でした。

午後は、建設技術振興課、砂防災害課に分かれ、それぞれの課が所管する業務の概要説明を受けました。

【実習生のコメント】

県の職員として働く人の人数はたいへん多く驚きました。職員に求められる能力というのもお聞きしたので、これらを意識して5日間のインターンシップに取り組みたいと思います。
（業務説明では）大学で学んでいることとの関係を実感でき、授業へのモチベーションになりました。

【2日目：8月25日】

道路環境課、都市計画課に分かれて実習しました。

道路環境課では、道の駅の管理、除雪、道路パトロール、道路施設の老朽化対策等について座学実習しました。

都市計画課では、都市計画の概要、開発許可、景観屋外広告、復興まちづくり事業等について座学実習しました。

【実習生のコメント】

都市計画の概要については、普段生活している地域周辺を例に説明して頂き、大変わかりやすかった。また、沿岸の復興についての内容が印象的だった。ここでは、今まで大学で学んできた都市計画とはまた違う、実際に行われている都市計画に大いに感銘を受けた。

【3日目：8月26日】

前日に引き続き、道路環境課、都市計画課に分かれて実習しました。

道路環境課では、盛岡停車場線の開運橋塗装工事や国道106号の築川地区擁壁補修工事現場を見学したほか、午後には盛岡広域振興局土木部管内の道路パトロール実習を行いました。

都市計画課では、大船渡市や陸前高田市にて実施している復興まちづくり関連の事業に関する現場視察実習を行いました。

【実習生のコメント】

事業の規模が想像していたよりもはるかに大きく、事前に説明を受け知っていたが実際見てその大きさに驚かされたと同時に、自分もこの事業に携わってみたいと感じた。今回の経験は今後の自分の進路を決める上での大きなポイントになった。

【4日目：8月27日】

2名一緒に花巻空港事務所、北上川上流流域下水道事務所での現場実習を行いました。

花巻空港事務所では、空港管理業務の説明を受けたあと、滑走路点検パトロールの実習を行いました。また、除雪車両や化学消防車も見学しました。



【実習生のコメント】

滑走路や除雪車・消防車など普段は見られないところを見せていただき感動しました。飛行機を安全に離着陸させるための様々な設備があり、大変ではあるけれどやりがいを感じる仕事だということを知り、県の職員になれたら一度経験してみたいと思いました。

北上川上流流域下水道事務所では、下水道事業の概要についての説明のあと、下水処理施設を見学しました。

【実習生のコメント】

下水処理のフローに従って施設内を回った。大学の講義で一度学んだことではあるが、実際に見たことで下水処理の具体的なイメージをつかむことができた。



【最終日：8月28日】

前日に引き続き2名一緒に、綱取ダム管理事務所、築川ダム建設事務所の現場実習を行いました。

綱取ダム管理事務所では、ダム管理業務の説明を受けたあと、堤体内部の設備等を見学しました。

【実習生のコメント】

家の近所を流れる中津川にも関係が深く、身近ではあるはずですがあまり意識したことはありませんでした。今回見学をして施設設備や業務などを知ることができたので、これからは綱取ダムの恩恵を受けていることも実感して生活しようと思いました。



築川ダム建設事務所では、ダム建設事業の概要説明を受けたあと、転流工や取付道路の工事現場にて確認検査業務を実習しました。

【実習生のコメント】

工事現場も見せていただき、ほんの少しではありますが現場監督としての職員の仕事も体験させていただいたことで、実際の仕事のイメージを私の中で具体化することが出来ました。



全体を通して、実習生からは「就職を考える上で貴重な経験となった」こと、「素敵な方にたくさん会えた」等の感想をいただきました。